

5・6年生餅つき交流会(12月11日)

毎年12月に行われる「餅つき交流会」。今年も、高齢者の方と交流を深めながら行いました。年末の餅つきは、「新しい年がよい年でありますように。」「みんなが元気で暮らせますように。」という願いが込められているそうです。みんなについて、丸めたお餅。おいしそうなお餅ができました。来年が皆さんにとってよい年でありますように！

児童代表始めの言葉

「ぼくは、お年寄りの方と話す機会があまりないので、今日は、一人でも多くの方とお話をして仲良くなりたいです。」

きねを持ち上げ、蒸されたもち米にねらいをさだめて、「よいしょ！」ペタッという音がする時もあれば、ねらいがずれてしまう時もありましたが、周りの皆さんの「よいしょ！よいしょ！」のかけ声のおかげで、頑張ることができました。

お餅を丸める時は、つきたてのお餅をほどよい大きさにちぎってもらい、丸め方を教えてもらいながら丸めました。

最後に「ふるさと」を歌いました。子ども達の歌声を聞きながら、おじいさん・おばあさん達も一緒に口ずさんでくださったり、手拍子をしてくださったりしました。

「もしもし かめよ」のうたに合わせて、お年寄りの肩たたきをしました。肩たたきをする前と後には握手もし、喜んでもらいました。

児童代表終わりの言葉
「みなさんと一緒に餅つきができて、とてもよい思い出ができました。ありがとうございました。」

〈児童の作文から〉

僕は、おばあちゃんと話を
して、「小さい頃はいっぱいもちをついたんだよ。」ということを知りました。最近、餅つきをしないので、僕のおじいちゃんに頼んで、餅つきをいっぱいしたいです。今日は、おばあちゃんから話しかけてもらったので、今度は、自分から話していきたいです。

全校児童へのお餅のお土産もたくさんいただきました。ありがとうございました。